

福岡教育大学生協 新入生歓迎企画 坂の上のぱむ



[新学期]

取り組み概要

日時：2026年4月5日(日)
場所：福岡教育大学
参加者数：新入生313名

背景や概要：毎年恒例の新入生歓迎企画「坂の上のぱむ」今年も、300名以上の新入生が参加し、大盛り上がりの1日となりました。大学生協ならではの想いも、しっかりと伝えることができました。

生協学生委員の想いが届いた「坂の上のぱむ」

POINT.1

参加者同士の活発な交流を促す企画内容



本企画では「積木式自己紹介」や「〇×クイズ」に加え、班対抗の「学内探索」を実施されていました。学内探索では、新入生が自分たちだけで構内を巡り、隠されたクイズを解き進める形式をとることで、自然と正解に向けた会話が弾み、**班の仲が深まる様子**が見られました。また、一部のクイズを「先輩が身に着けているもの」に隠すという仕掛けを導入。この遊び心ある演出に会場からは驚きと歓声が上がリ、新入生と先輩との間にも大きな盛り上がり一体感が生まれていました。

POINT.2

大学生協ならではの企画

レクリエーション後には、学生委員会とアドバイザーの紹介を行いました。運営メンバーが前に出て一人ずつお話をしており、スライドの説明だけでは伝わりにくい「活動の楽しさ」や、新入生に対する「アドバイザーの想い」を丁寧に伝えていました。単なる大学の「新歓」にとどまらず、自分たちの活動、そして**大学生協が新入生の大学生活を支える存在であることを周知**できており、生協学生委員会が主催する意義を十分に発揮した企画となりました。



POINT.3

運営スタッフと新入生の関わり



待ち時間や移動の際に、運営メンバーが新入生に対し、積極的に話しかけに行く姿がとても素敵でした。クイズの最中は班の議論が進むような投げかけをし、学内探索の後には「水飲んでね」「リラックスしてゆっくりしていいからね」などの声かけが行われていました。**新入生も終始笑顔で、リラックスした状態**で楽しむことができていたと考えます。運営側のこうした細やかな配慮が、新入生の緊張をほぐし、企画を通して「**生協学生委員会の温かさ**」を肌で感じるきっかけになったと言えます。